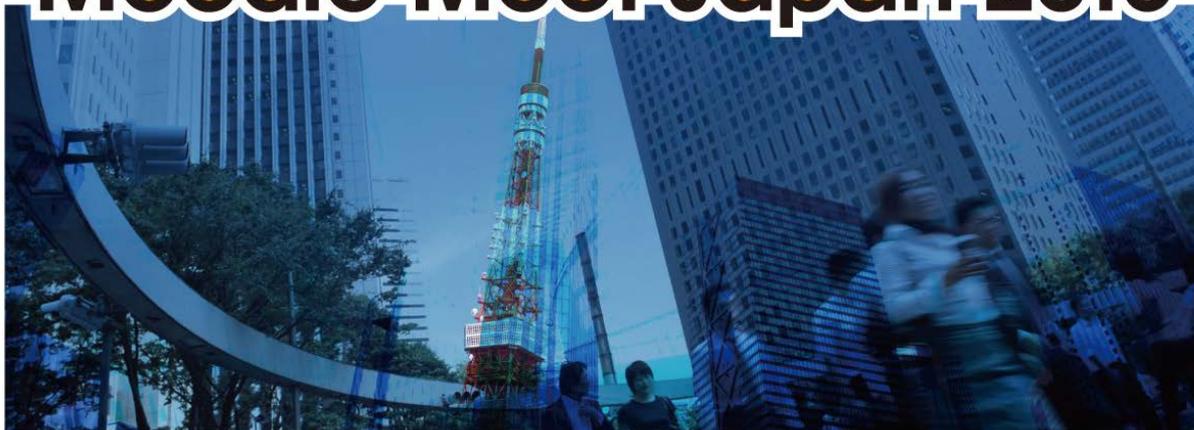




Moodle Association of Japan

**Fifth Conference for Moodle
Teachers and Developers**

Moodle Moot Japan 2013



スポンサー募集のご案内

日本 Moodle 協会 企業部会



スポンサー 募集のご案内

Moodle Moot Japan 2013 スポンサー募集

- Moodle Mootは、Moodleを利用する教育者、開発者、IT管理者、サポート企業などのMoodleコミュニティが一同に集結し、それぞれの知識と経験、ノウハウ、将来展望を共有する国内最大のイベントです。
- このイベントに参加するすべての人にとって実り多きものにするため、ご支援いただけるスポンサーを募集いたします。



スポンサー募集要項

対象企業	Moodle に関連するビジネスをされている、もしくは今後する予定があり、Moodle Mootの開催をご支援いただける企業
協賛金	200,000円 (消費税はありません)
スポンサー特典	<ul style="list-style-type: none">• 商業展示ブース 2日間*• 商業プレゼンテーション 1枠*• 5名まで参加無料• お得意様ご招待チケット 10名分• パンフレット、公式Webなど主催者が所有するメディア媒体への企業名・ロゴの掲載
できればご協力頂きたいこと	<ul style="list-style-type: none">• 貴社が所有するオンライン、オフラインメディアでのMoodle Mootの積極的なプロモーション活動• ワークショップでの講師• ガイドブック・チラシ封入用のウェルカムバッグ、文房具、ノベルティグッズなどのご提供 (企業ロゴ等が入っていてもOK)• 開催当日の来場者誘導、カメラ撮影等のヘルパー要員• イベント運営に関するノウハウの提供やアドバイス

* 展示ブース、商業セミナー枠はお申込時にご希望された場合に限りです。

お申込み方法

- 別紙のスポンサー規約をよくお読みになり、以下のオンラインフォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

第5回 日本ムードルムート申込みフォーム

<https://adobeformscentral.com/?f=yUUkuXIP7ppGQhKHwIA59g>

お申込み期限：2012年12月28日(金)



- 原則お申込み順に、受付に近い場所から展示ブースを割り当てます。お早めのお申込みをオススメします。
- お申込み後、数日中に請求書を送付いたします。原則お申込み日の翌月末までに協賛金をお振込みください。
- お申込み期限後のキャンセル、返金はいたしかねます。



スポンサー特典 概要

商業展示ブース

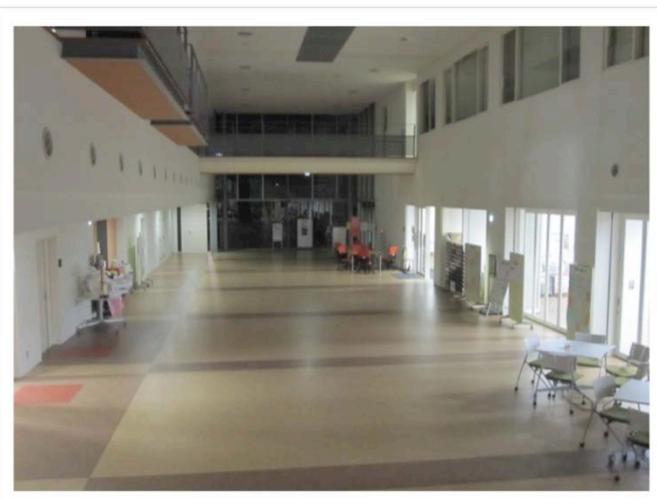
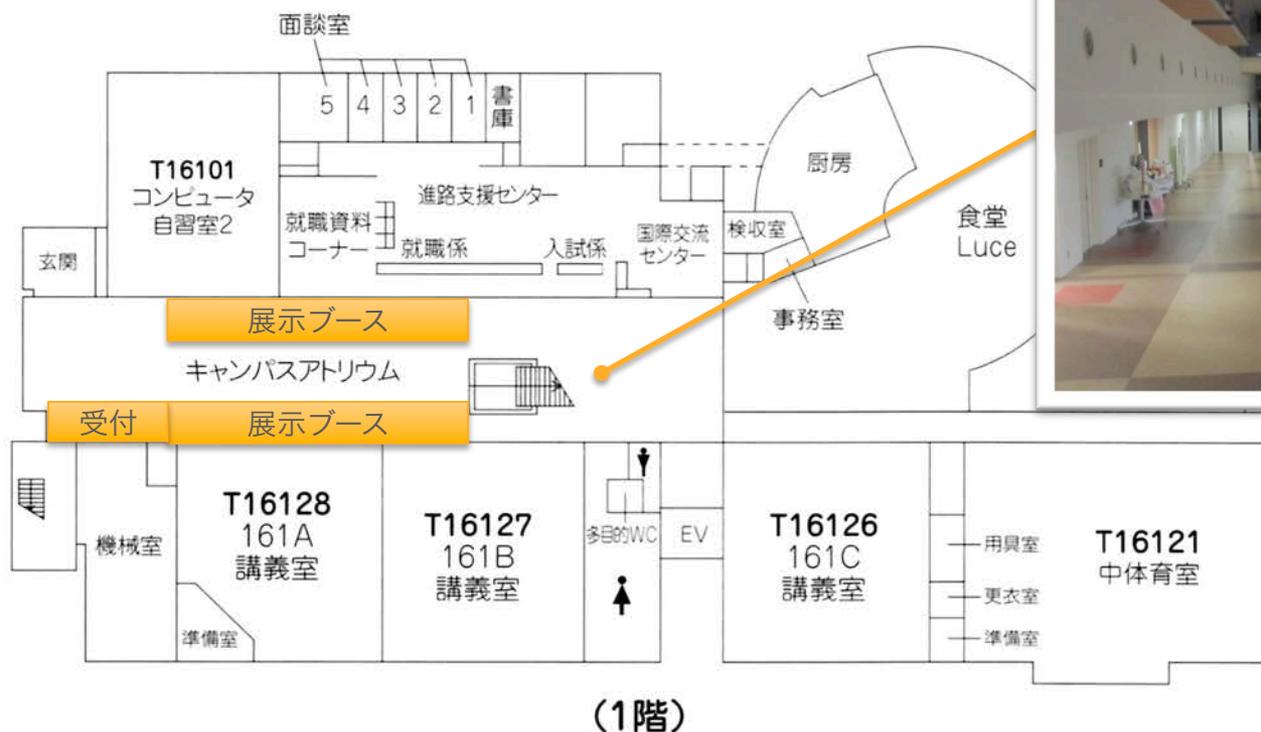
- 申込時にご希望があれば、展示ブースをご用意します。
 - 幅180cm 高さ225cm パーティションで区切ります。
 - パネル2枚分設置可
 - Wi-Fi 通信回線
 - コンセント2口
 - 長テーブル 1台
 - 椅子2～4脚

社名パネルは各自でご用意ください。
パーティション内のデコレーション
は自由です。



商業展示ブース・レイアウト(案)

- 会場は東京家政大学の16号棟をお借りします。
- 商業展示ブースは1Fキャンパスアトリウムの両側を予定しています。



- ❖ 展示ブース数および通路幅確保などの要因により、場所やレイアウトが変更される場合があります。
- ❖ 展示ブースの場所は指定できません。原則お申込み順に受付に近い場所から割り当てます。

商業プレゼンテーション

- 申込み時にご希望があれば、40分間または90分間の商業プレゼンテーション枠をご提供します。
 - 自社のサービスを存分にアピールすることができます。
 - PC教室を使ったハンズオンワークショップも可能です。



お客様ご招待チケットの進呈

- Moodleにご興味のある貴社のお客様を無料で招待できるチケットを進呈します。
- 最大10名までご招待できます。（10万円相当）



※ 受付確認のため来場者の事前登録が必要になります。

配布物、オンラインメディアへの掲載

主催者が所有するさまざまなメディア媒体に、会社ロゴ、社名、口コミを掲載します。



※お申込みの時期や、メディアの更新のタイミング、レイアウト上の問題等により、必ずしもすべてのメディア媒体に掲載できることを約束するものではありません。

Moodle Moot に参画するメリット 1

- 想定来場者数は約**400名**
- 大学、高等専門学校の**教授・准教授、教務責任者、企業や官公庁の人事・教育担当者**などシステムやサービスの導入・投資に決定権を持つ方、または推進する立場の方が**多数来場**します。
- 有料イベントのため、**ポテンシャルの高いカスタマーだけ**が集まります。
- 商用LMS/CMS、コンテンツ制作ツール、電子教科書、クラウドサービス、モバイルラーニングなど、先進的な教育ソリューションに高い関心を示す方に積極的にアプローチできます。
- 情報収集のみならずその場で名刺交換をしながら、ビジネスの商談・研究パートナーの開拓も可能です。



Moodle Moot に参画するメリット 2

次のような課題を抱えるMoodleユーザーが少なくありません。

バージョンアップできず、未だに古いバージョンを使っています。

コース開発をリーズナブルなベンダーに委託したい。

コンテンツを簡単に内製化できる良いツールはないか？

モバイルラーニングにも対応したい。

リーズナブルなホスティングサービスでMoodleを運用したい。

最近利用者が急増してパフォーマンスが悪くなった。

企業/大学イメージに合う素敵なテーマをデザインして欲しい。

なかなか組織に根付いてくれません。

全学や全社利用に拡大したいが、運用保守サポートが心配

オリジナルのプラグインを開発して欲しい。

既存のシステムと連携させたい。

Moodleの機能をもっと使いこなしたい。

これらの課題を解決できるソリューションをお持ちであれば、ビジネスチャンスが期待できます。

Moodle Moot に参画するメリット 3

Moodle をとりまく周辺ビジネスへの機会創出

- ❖ ホスティング
- ❖ コンサルティング
- ❖ システム統合
- ❖ インストラクション
- ❖ 運用サポート
- ❖ プラグイン開発
- ❖ コンテンツ制作
- ❖ テーマデザイン
- ❖ トレーニング

- 👉 新規顧客層の開拓・リード取得
- 👉 既存顧客へのフォローアップ、受注拡大
- 👉 知名度&ブランド力の向上
- 👉 学校・企業・官公庁・自治体との情報交換、連携強化



開催概要

開催概要

- 名称：第5回 日本ムードルムート
The 5th Moodle Moot Japan
- 主催：日本ムードル協会 Moodle Association of Japan
- 会期：2013年3月2日(土)～3月3日(日) 2日間
- 開催地：東京家政大学（板橋キャンパス）
- 見込み来場者数：400名



Moodle Moot の内容

- 世界シェアNo.1のオープンソースコース管理システム「Moodle」をめぐる研究、開発、実践についての発表や著名人の基調講演、活用事例発表セミナー、ワークショップなど数多くのセッションが用意されます。
- 参加費1万円にもかかわらず、毎年数百人もの熱心なMoodleユーザーが集結します。
- 学校や企業の教育者、SE/プログラマー、IT管理者など、様々な業種/職種の方が、Moodleの今と未来について熱く語り合う密度の濃いイベントです。



基調講演



岡部 洋一先生 (放送大学学長)

放送大学におけるICT支援教育



マイケル・ド・ラート氏
Moodle開発管理者

動機、採用、方式



マーティン・ドゥーギアマス氏
Director

教室へ戻ってみよう



白井 達也先生 (鈴鹿高専)

Moodle +/- 5年 高等教育機関向け学習支援環境から次のステップを考えてみよう



Moodle Moot

過去の実績

これまでの Moodle Moot

回	年	主催校	エリア	参加人数
第1回	2009	公立ほこだて未来大学	北海道	50
第2回	2010	公立ほこだて未来大学	北海道	120
第3回	2011	高知工科大学	高知	180
第4回	2012	三重大学	三重	200



Moodle Moot 2012 プログラム (Moot@三重)

2月22水曜日 ムードル・ムート三重2012年の予定表 Wednesday 22nd Feb. MoodleMoot Japan 2012 - Mie schedule

08:30 - 9:30 Registration (Auditorium lobby) 参加登録 (講堂ロビー)								
Room & Time	16番教室 (50人)	10番教室(96人)	13番教室(57人)	11番教室(51人)	12番教室(118人)	15番教室(140人)	23番教室(50人)	14番教室(50人)
09:30 - 10:10 (40 mins)					301 ワークショップ 90分 Workshop 90 mins Bob Gettings: Beginner Workshop Part 1 English	300 初級ワークショップ パート1 90分 日本語 Workshop 90 mins 山内 真理: Beginner Workshop Part 1 日本語	200 ワークショップ 90分 Workshop 90 mins Peter Ruthven Stuart: Efficient and Effective Techniques and Features	128 プレゼンテーション 90分 90 minute presentation Mark deBoer: Moodlegogics: Course Building Strategies in Moodle
10:20 - 11:00 (40 mins)	155 Dubhgan Hinchey, Sehwan Kwon Daruma: 英語: Students in charge of learning	164 沼田寛, 不破崇行 (大塚 裕子, 橋本弥生): 日本語 ライティング指導への用 語集モジュールの活用	150 中村 泰之, 中原 敬広: 数学 eラーニングシステ ムSTACKの日本語化総括 と活用事例	107 木村 哲夫, 大西 昭夫: Computer adaptive tests on Moodle: Moodle-UCAT				
11:10 - 11:50 (40 mins)	176 Martin Meadows: Consequences of introducing a Moodle Reader program	186 内田 充美, 小島 篤博: Moodleを活用した授業外 学習活動の運営と支援	154 鈴木 謙: 国内の大学 院生を対象とした情報数 理の教育用サイトの構築	127 秋山 寛, 木村 哲夫: 潜 在ランク理論に基づくア ダプティブテストモ ジュールの開発	132 Mark deBoer, Natsumi Onaka, Takahiro Nakanishi: Iwate University Pre-entrance student education	143 丸山 友則, Don Hinkelman: Moodle 2 の バックアップ処理の内部 構造についてと開発例 (上 級開発者向け)	184 寺田 将壽, ブレイジ ア アン(山之上 卓, 下園 幸一): 鹿児島大学におけ るmoodle liteの運用方法と 問題点	199 Adam Smith: Designing collaborative writing tasks in Moodle
11:50 - 13:00 (70 mins)	Four Showcases ショーケース (講堂ロビー Auditorium Lobby): 171 Eric Hagley, Cooperating and Collaborating Internationally with Moodle. 193 Justin Hunt & Thom Rawson, PoodLL for Moodle 2 125 森本容介, SCORM 2004対応活動モジュールの開発. 194 杉山 秀則, UPO-NETプロジェクトでの教材配信とMoodle利用事例の紹介					Lunch 昼食 (第二食堂 Second Commons)		
13:00 - 13:50 (50 mins)	KEYNOTE 1 (id 205) Michael de Raadt, How Moodle gets from HQ to you (and how you can be involved too) 小ホール Auditorium small hall							
14:00 - 14:40 (40 mins)	Lighting Talks 1: 198 , Adam Smith, Feedback+ Module	141 洞田 勝博, 竹之下 朗 (藤尾 清信, 根建 洋子): 動 画を利用したピアノレッ スンの実践	147 島中 俊巳: アドビシ ステムズ株式会社での Moodle活用事例	192 Justin Hunt: Using Moodle in High School English Conversation Classes	145 金西 計英, 吉永 哲哉 (松浦 健二, 林 敬浩): Moodle利用のための地域 Federationの構築	133 宇田川 龍: 初めての LMSとしてのMoodle導入 と初年度の運用	137 大西昭夫, 大澤真也, 中西大輔, 有田真理子: 小 テストを簡単に作るブ ロックモジュール「e問つ く朗」	129 秋山寛 (湯澤一比古): moodle2x.infoサイトで情 報共有
14:40 - 15:00 (20 mins)	Break							
15:00 - 15:40 (40 mins)	Lighting Talks 2, 126 , 森本 容 介, 仲林 清, 杉山 秀則, 芝崎 順司, SCORM 2004対応活動 モジュールの開発, 134 , 白井 達也: 5分でできるMoodleを 劇的に使い易くする小さな小 さな改良点の紹介, 140 , 北 英 彦: Moodleの利用者としての 教員からの失敗事例の報告	191 Thom W. Rawson, Justin Hunt: Digitizing a Commercial Textbook for Use in Moodle: the Legal Way!	156 横浜市消防局企画課 藤田 豊: 統・消防本部にお けるMoodle活用事例	197 山田 晃嗣, 小林 孝浩: 修士研究中間発表等での 導入事例について	303 ワークショップ 90分 Workshop 90 mins Eric Hagley: Beginner Workshop Part 2 English	204 プレゼンテーション 90分 90 minute presentation Michael de Raadt: Moodle Plugins: past, present and future	302 初級ワークショップ 日本語 パート2 90分 Workshop 90 mins 原島 秀 人: Beginner Workshop part 2 日本語	131 ワークショップ 90分 Workshop 90 mins David Campbell: The Moodle database module: an examination of its strengths and weaknesses
15:50 - 16:30 (40 mins)	181 Paul Daniels: Mobile media apps and Moodle	158 Andrew Johnson: Theming: Making Your Moodle Course Unique	136 瀧美 清隆: オンライン 資料等を置いた場合の 環境変化による学修意欲 の違い	157 Yutaka Fujita (Yokohama City Fire Bureau): Moodle in Fire Station				
16:40 - 17:50 (70 mins)	General meeting of MAJ 協会年次総会 (id 304) 小ホール Auditorium small hall							
18:00-20:00 (120 mins)	Networking Reception: 懇親会 第二食堂, Second Commons							

Moodle Moot 2012 プログラム (Moot@三重)

2月23木曜日 ムードル・ムート三重2012年の予定表 Thursday 23rd Feb. MoodleMoot Japan 2012 - Mie schedule								
Registration (Auditorium lobby) 参加登録 (講堂ロビー)								
Room & Time	16番教室(50人)	10番教室(96人)	13番教室(57人)	11番教室(51人)	12番教室(118人)	15番教室(140人)	23番教室(50人)	14番教室(50人)
08:30 - 9:00 [40 mins]	Lighting Talks 3, 179 , Hinkelman & Maruyama, Sharing Cert & Project Course Format in Moodle 2.2, 183 , Gamble, Utilizing Moodle to practice & study TOEFL skills, 189 , Ruthven-Stuart, The Quiz Organiser, simplifying Quiz Administration	149 商用プレゼンテーション 40分 Commercial presentation 40 mins 池原 治, 鈴木 禎子: Moodle 2.1 のインストールと、サーバーの無償提供について	166 Gordon Bateson: Putting Moodle's grade book onto the course page: why? how?	159 新村 正明 (足立 紘亮, 五月女 雄一): 複数サイトの効率的な運用手法	206 ワークショップ 90分 Workshop 90 mins Michael de Raadt: Upgrading plugins for Moodle 2	130 プレゼンテーション 90分 90 minute presentation Mark deBoer, Simon Townsend: Moodlelegics: Peer-peer assessment strategies	152 ワークショップ 90分 Workshop 90 mins 木原 寛: テストや評価アンケートの質問の一括作成	
09:50 - 10:30 [40 mins]	Lighting Talks 4, 142 , 磯口 三郎: LaTeXから Moodle XML への変換ツール, 146 , 坂谷 隆弘: Moodle ユーザーインタフェースのスマートフォン最適化, 175 , 松田 大: 東京理科大学における Moodle 2.0 の全学活用			138 大倉 孝昭, 小山 敏子, Judy Noguchi: 映画で英語を楽しく学習プロジェクトにおける moodle 導入事例				
10:40 - 11:40 [80 mins]	KEYNOTE 2 (id 207) 喜多敏博 教授 Dr. Toshihiro Kita, ムードルで遊ぶ - プラグインとカスタマイズ, Playing with Moodle - Plugins and Customizing (日本語) 小ホール Auditorium small hall							
11:40 - 12:45 [65 mins]	Lunch 昼食: Second Commons (第二食堂)							
12:45 - 13:25 [40 mins]	Lighting Talks 5, 165 , 浦野 研: NanoGong を利用した教室外英語スピーキング活動, 167 , 小柏 香穂理, 王麗 (刈谷 丈治, 小原 加久治): PC50台を使った Moodle サーバの負荷テスト, 170 , 榎田 宏 (小島 佐恵子, 黒澤 麻美, 高橋 勇): Moodle によるアンケートの日本語環境, 160 , 菊田 修一: 基礎分子生物講義の復習に活用する Moodle	177 石川 高行, 矢島 彰: 大阪国際大学における moodle 運用経験の蓄積	180 Don Hinkelman, (Geordie McGarty, Joel Rian): Teaching Public Speaking with New Video Assessment Module	162 山内 真理, 原島 秀人, 神田 明延, 佐藤 慎一: LMS 連合およびブログ利用による英語交流活動	172 上田 浩 (ベアリー・キース, 牧原功, 久米 原 崇): 倫倫姫プロジェクト: Moodle による多言語情報倫理教育	185 鶴岡 信治 (高瀬 治彦, 川中 善晴): 電気電子工学科の PBL 教育を支援する ムードルの利活用	161 プレゼンテーション 90分 90 minute presentation 森尾 吉成, 奥村 晴彦: 三重大学における Moodle と eポートフォリオの展開	196 ワークショップ 90分 Workshop 90 mins Jason Hollowell: Using Moodle as an Educational Program Administration Tool
13:35 - 14:15 [40 mins]	Lighting Talks 6, 151 , 木原 寛: Jmol Resource を利用した分子軌道や分子振動の表示 139 , 株式会社エンカレッジ 北川 周子: 【CBT×moodle】 閲覧登録をカンタンに!, 195 , 杉山 秀則 (辻 靖彦, 芝崎 康司): UPO-NET プロジェクトでの教材配信と Moodle 利用事例の紹介		187 Jonathan Harrison, Ruth Vanbaelen Forums: Making Connections through Social Task-based Projects	188 田窪 美葉: ビジネスゲーム作成講義における Moodle の活用について	190 Thom W. Rawson, Justin Hunt: Tips for Migrating from 1.9 to 2.x			
14:25 - 15:05 [40 mins]		173 亀田 真澄: 山口東京理科大学での e ラーニング実施例の紹介	201 竹之下 朋, 竹之下 剛: 写真店における Moodle の活用事例	203 Sébastien Jaffrédo: Recording voice for language learning in Moodle	174 原田 寛之, Don Hinkelman: 200 の同時ユーザーのサーバーにセットアップとチューニング Server Setup and Tuning for 200 Simultaneous Users		144 松本 孝幸: Moodle と Mahara の一つの連携の仕方	163 小島 篤博 (青木 茂樹, 橋本 喜代太, 宮本 貴朗, 加藤 博喜): 大学基盤システムと連携した Moodle サイトの運用
15:15-15:55 [40 mins]	KEYNOTE 3 (virtual): Martin Dougiamas, Moodle Chief Developer, The Roadmap towards Moodle 3.0 (id 208) 小ホール Auditorium small hall							
15:55-18:30 [35 mins]	Closing Panel Discussion "Plugin to the Future" and Award Ceremony 閉会パネル討論 "Plugin to the Future" と授賞式 (小ホール Auditorium small hall)							



FAQ

賛助会員とは何が違うのですか？

賛助会員とは、日本ムードル協会に所属し、年会費を支払うことを通じてMoodleの普及および協会運営をご支援いただく団体・企業です。Moodle Moot と同時開催される年次総会に参加し票を投じることができます。

Mootスポンサーは、Moodle Moot イベントに対してスポット的に協賛いただく企業・団体です。協会には所属しないため、総会に参加し票を投じることにはできません。直接はMoodleに関係するビジネスをしていない企業、Moodleや協会の活動には興味はないが、Moodleの周辺ビジネスや Moodleユーザーをターゲットにしたビジネスに興味がある企業に特にオススメです。Moodle Mootでは商業プレゼンテーション枠や商業展示ブースなど賛助会員と同等の特典が得られる他、10名分のお得意様招待チケット、メディア媒体でより大きな広告露出が得られます。

既に賛助会員ですが、スポンサーになるメリットはありますか？

10名分のお得意様招待チケット、メディアでの露出という点ではスポンサーになっていただくメリットがあります。賛助会員だけでは飽きたらず、さらに貢献してMootを盛り上げたいとお考えの企業様は、是非スポンサーになっていただけると幸いです。

FAQ - 2

現在は協会非会員です。スポンサーになった場合、自動的に賛助会員になれる
すか？

自動的にはなりません。もし日本ムードル協会の活動にご賛同いただける場合は、別途お申込み
ください。

賛助会員がMoodle Mootスポンサーに応募する場合、割引はありますか？

ありません。

展示ブースやセミナー会場設備に関する情報はいつ頃もらえますか？

スポンサーにお申込みいただいた後、詳細が決まり次第ご連絡致します。

スポンサーとしてイベントのお手伝いをしたいのですが

是非お願いします。まずは mootsponsor@moodlejapan.org までご連絡ください。



お問い合わせ

お問い合わせ

- 日本ムードル協会 スポンサー事務局

mootsponsor@moodlejapan.org

- 日本ムードル協会 公式ホームページ

http://moodlejapan.org



こちらにもお気軽にアクセスください。

日本ムードル協会Facebookページ

<https://www.facebook.com/moodlejapan>